

関係性精神療法セミナー
関係精神分析入門ふたたび

このセミナー・シリーズは、2011年に第1回が開かれ、今年で第8回目を迎える。関係精神分析（関係論、関係性理論、関係性精神療法）は、対象関係論、サリバン派、コフト派、間主観性理論、自我心理学などを包括的に含み、現代のアメリカの精神分析の新しい流れを総括するものである。

これまで本セミナーでは、エナクトメント、動機づけシステム、共感と解釈など、精神分析の根幹に関わるテーマを取り上げ、基本に立ち戻りつつ、新たに再検討してきた。当セミナーや日本精神分析学会の教育研修セミナーにおける企画を通して、その理解は徐々に広がりつつある。

今年は、原点に立ち戻り、「関係精神分析入門」と題して開催する。関係精神分析の考えにすでに馴染んでおり、さらに基本を見直すことで理解を深めたいという方はもちろん、関係精神分析を近づきにくいと感じている方、理解しにくいと感じている方、疑問を感じている方など、様々な方々に参加していただきたい。関係精神分析とは一体何なのか、色々な学派がある中でそれはどのような特色を持っているのか、関係精神分析を学ぶ意義はどこにあるのかなどについて、初学者にも分かり易く、また最新の知見も交えて解説する。さらに、参加者と積極的に対話を進めていきたいと考えている。

参考文献：岡野憲一郎・吾妻壮・富樫公一・横井公一著（2011）『関係精神分析入門』（岩崎学術出版社）
岡野憲一郎編著（2016）『臨床場面での自己開示と倫理』（岩崎学術出版社）
吾妻壮著（2016）『精神分析における関係性理論：その源流と展開』（誠信書房）
富樫公一著（2016）『不確かさの精神分析』（誠信書房）

◆ 日 時：2018年（平成30年）7月22日（日曜日） 午前10時～午後3時
（進行具合により多少の延長も考えられます）

◆ ところ：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8番地

◆ 発表者：吾妻壮（神戸女学院大学）・富樫公一（甲南大学）・岡野憲一郎（京都大学）

◆ 司 会：岡野憲一郎、吾妻壮

◆ 受講料：6,000円

◆ 定 員：60名

◆ 申込方法：参加申込書にご記入の上、郵送またはFAX・Eメールでお申し込みください。

受講の可否をはがき及び申込書に記載のEメールにてご連絡いたしますので、振込み先をご確認の上、受講料をお振込みください。

◆ 申込先：〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4 SCビル6階
小寺記念精神分析研究財団セミナー事務局 FAX 03-3350-9749
E-mail：kodera.kt@nifty.com

◆ 申込期限：7月13日（金）

主催：小寺記念精神分析研究財団

関係性精神療法セミナー参加申込書

「関係精神分析入門ふたたび」

2018年7月22日(日)

本参加申込書は、下記住所まで郵送または FAX・E メールにてお送り下さい。※Eメールの場合は、件名「7月22日開催セミナー申し込み」として、本文に下記必要事項をご記入下さい。

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-4SCビル6階
小寺記念精神分析研究財団事務局

FAX (03) — 3350 — 9749

申込期間 7月13日(金)まで期間厳守 申込 月 日

フリガナ 氏名				男・女(19年生)
勤務先				
所属		職種	経験年	

(どちらかを○で囲んでください) 自宅・勤務先

連絡先住所	〒		
自宅	電話	FAX	
勤務先	電話	FAX	
e-mailアドレス			

参加費：6,000円

*先着順に受け付けます。参加の可否については、受付後順次連絡先住所にはがきまたは申込書に記載のEメールアドレスに連絡いたします。その際振込先もご案内いたします。
定員になりしだい締め切ります。

本セミナーをどのようにして知りましたか?該当する箇所に○を付けて下さい。

郵便 ・ ホームページ ・ メール ・ 知人の紹介 ・ その他 ()

※記載いただいた個人情報は、セミナーのご連絡及びご案内のみに使用いたします。